

## 情報管理料金の収支均衡計画の実施状況報告(案)

(平成16年4月～平成24年3月の8年計画)

自動車リサイクル法本格施行時の情報管理料金は、平成16年4月から平成21年3月までの5年間で収支均衡すべく130円に設定した。

その後の業務量の変化等により収支均衡計画の修正が必要となったことから、平成18年1月開催の第12回資金管理業務諮問委員会での審議の基、収支均衡計画を5年から8年(平成16年4月～平成24年3月)に変更し、更に平成18年4月から情報管理料金を130円から230円に改定することとした。併せて料金改定してもなお生じる不足額は状況を見極めつつ平成18年度から平成23年度の6年間にわたって段階的に資金管理法から情報管理センターに特定再資源化預託金等を出えんいただくことが承認された。

来年度は収支均衡計画の最終年度をむかえることから、7年目である現時点での収支均衡状況を次のとおり報告する。

## 1. 収支見込(平成16年4月から平成24年3月までの8年計画)

(単位:百万円)

勘定科目	計画 (※1)	見込 (※2)	差異	差異の要因
情報管理料金等収入	3,938	4,399	461	引取台数の計画値24.5百万台が25.5百万台と増加を見込む。
特定再資源化預託金等	2,030	790	△1,240	
その他収入	115	129	15	
収入合計(※3)	6,083	5,318	△764	
システム関連費用	2,432	1,844	△587	費用低減により計画を下回ることを見込む。
データセンター運営費	1,497	1,894	397	保守期間終了に伴うハードウェア入替等により増加を見込む。
コンタクトセンター運営費	1,272	991	△281	業務量等が計画を下回ることを見込む。
その他支出	769	468	△301	予備費等を使用する事案は発生しないことを見込む。
支出合計(※3)	5,970	5,197	△772	
収支差額	112	121	8	

(※1)平成17年12月末時点における実績・計画

※四捨五入をしているため合計額は必ずしも一致しない。

(※2)平成22年9月末時点における実績・見込(平成22年度、平成23年度は平成22年度の予算を使用)

(※3)自動車製造業者・日本自動車輸入組合からの収入及び当該収入に対応する支出は、計画には含まれていないため、見込にも含まれていない(収支差額への影響はない)。

## 2. 収支均衡計画の総括

収入・支出ともに計画より約7.7億円減少し、ほぼ計画通り収支均衡する見込である。平成24年度以降は230円の台数比率が上昇すると見込まれることから、次期繰越収支差額は増加する(別添参照)。従って、今後は次期情報管理料金の水準等について検討する必要がある。

以上